



K 中通信

学校だより 1号
平成31年 4月 8日
横浜市立軽井沢中学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）

新年度を迎えて

校長 星野 久美子

桜は盛りを過ぎ、陽射しは日に日に暖かさを増しています。新緑の頃には「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められた令和の時代が始まります。多くのことがらの始まりである春ですが、今年はひとしお感慨深く感じられます。

軽井沢中学校は、生徒数255名、教職員数（非常勤講師等含む）29名でのスタートとなりました。3月の修了式では現2・3年生に「多くの先輩方が紡いできた伝統を、あなたたちが受け継ぎ、新たな時代を築いていきます。準備をしっかり行い、笑顔の花が咲く始業式・入学式を迎えたいものです。」という話をしましたが、一人ひとりがしっかりとその言葉の意味を理解してくれたようで安心しています。始業式では「一人ひとりが安心して、自分の個性を十分に発揮できる学校であってほしい」という話をしました。令和の出典とされる「万葉集」には「梅の花 咲きて散りなば 桜花 継ぎて咲くべく なりにてあらずや」という歌があります。意味は「梅の花が咲いて散ってしまっても、桜の花が引き続き咲くようになっています。」ということでしょうか。桜の花が終われば新緑、そして紅葉や雪景色と美しい光景を私たちは楽しむことができます。このように生徒の皆さんが個性豊かに自分らしさを発揮できる一年であってほしいと強く願います。

保護者の皆様や地域の方々には、日頃より生徒を温かく見守っていただきありがとうございます。

今年度も引き続き本校の学校教育に御理解と御支援をいただけますようお願い申し上げます。

新しい季節の始まり

副校長 白倉 輝満

春風が心地よい季節となりましたが、皆様にはいよいよご清祥の由、心からお喜び申し上げます。私は昨年度、軽井沢中学校に赴任し、様々な場面で多くの方々にお世話になりました。そのおかげで一年間乗り切ることができ、感謝の念に堪えません。

さて、この春も、卒業、進級、異動などがありました。時間は決して止まることはなく、分かり合えたかと思うとすぐに変化が訪れます。別れと出会いは望むと望まざるとにかかわらずやってきます。だからこそ、これからの出逢い一つひとつを大切にし、自分の成長にとって意義のあるものにしていきたいと思えます。つい先日、ようやく満開となった桜は、春の訪れを告げてくれました。進学・進級に、文字通り花を添えてくれました。しかし、すでにその花卉は散り行き、次のステップへと導いてくれているかのようです。春惜しむばかりではなく、やがて来る夏に向けて心を固めていくことも、時には必要かもしれません。

学校生活は、長い人生の中では短い期間ですが、子どもたちにとって大きな意義をもつ期間だと思います。実り多き期間となりますよう、保護者の皆様や地域の皆様とともに、よりよき教育の場を作っていきたいと思えます。今年度も、どうぞよろしくようお願い申し上げます。